

令和4年4月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和4年4月26日(火) 午後1時35分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室301

3 出席委員の氏名

| | | | |
|-------|---------|----------|---------|
| 教 育 長 | 小 林 靖 直 | 教育長職務代理者 | 中 野 信 男 |
| 委 員 | 秦 久美子 | 委 員 | 齋 藤 純 郎 |
| 委 員 | 小 林 恵 子 | 委 員 | 上 田 佳 澄 |

4 説明のため出席した職員

| | | | |
|-------------|---------|---------------|-----------|
| 教 育 次 長 | 太 田 和 行 | 主 幹 | 鈴 木 華 奈 子 |
| 学 校 教 育 課 長 | 岡 部 清 美 | 子 育 て 支 援 課 長 | 白 井 健 次 |
| 社 会 教 育 課 長 | 廣 田 友 幸 | 統 括 指 導 主 事 | 今 井 泰 輔 |
| 主 任 指 導 主 事 | 小 池 純 一 | | |

5 本委員会書記

学校教育課 大塚小由紀 他2名

6 傍聴人

なし

7 会議に付議した事件

会議録の承認

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第4号 共催・後援の教育長専決報告について

議 案

議案第15号 学校薬剤師の委嘱について

議案第16号 燕市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について

議案第17号 燕市学校給食センター調理配送等業務委託事業者評価委員会委員の

委嘱について

- 議案第18号 燕市教育行政評価委員会委員の委嘱について
- 議案第19号 第3次燕市学校教育基本計画検討委員会委員の委嘱について
- 議案第20号 燕市立小中学校における衛生管理者及び衛生推進者の選任について
- 議案第21号 燕市立小学校及び中学校における非常かけつけ人の委嘱について
- 議案第22号 燕市学校運営協議会委員の委嘱について
- 議案第23号 燕市 Good Job つばめ推進事業実行委員会委員の委嘱について

その他

- (1) 令和4年第2回燕市議会臨時会（教育委員会関係抜粋）
 - 1) 専決処分の報告について(令和3年度燕市一般会計補正予算(第16号))
 - 2) 令和4年度燕市一般会計補正予算(第1号)
- (2) 燕市地域レジリエンス自立分散型エネルギー設備等導入事業
(燕市立吉田南小学校) プロポーザルの結果報告について
- (3) 「羽ばたけつばくろ応援事業」審査員の選任について
- (4) その他
 - 1) 「読解力」育成プロジェクトについて

8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1 開 会 宣 言 午後1時35分～

2 会議録の承認

全員異議なく、令和4年3月定例教育委員会々議録は承認された。

3 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

〈各課長が報告〉

(2) 教育長報告

〈小林教育長が以下のとおり報告〉

① はじめに

新教育長に就任した小林靖直です。どうぞよろしくお願ひいたします。

- マスクの欠かせないニュースタンダードな学校・園の生活、3年目がスタート。引き続き、「感染拡大防止」と「豊かな学び」の両立が求められている。
- コロナ禍によるマスク生活が続いていることで、学習意欲が沸かない子どもの増加や、乳幼児の子どもたちの認知発達の低下など、様々な影響が出ているという調査結果もある。
- 燕の子どもたちの今の幸せ、未来の幸せを願ひながら、各事業及び教育活動、保育を展開したい。建設的、創造的な営みであるべきと考える。

② 市内園児数及び児童生徒数

(1) 園児数 (28 園) 前年比-54

| 園 | こども園 | 保育園 | 幼稚園 | 計 |
|-------|-------|---------|------|---------|
| 公立 | 218 | 1,148 | 13 | 1,379 |
| (前年数) | (227) | (1,142) | (14) | (1,383) |
| 私立 | 609 | 371 | 0 | 980 |
| (前年数) | (637) | (393) | (0) | (1,030) |
| 計 | 827 | 1,519 | 13 | 2,359 |
| (前年数) | (864) | (1,535) | (14) | (2,413) |

(2) 小学校の児童数 (15校) 前年比-142

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 特別支援 | 計 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 児童数 | 515 | 567 | 561 | 603 | 551 | 595 | 232 | 3,624 |
| (前年数) | (572) | (556) | (613) | (553) | (597) | (646) | (229) | (3,766) |
| 学級数 | 25 | 26 | 23 | 25 | 23 | 25 | 49 | 196 |
| (前年数) | (26) | (25) | (25) | (23) | (25) | (25) | (48) | (197) |

(3) 中学校の生徒数 (5校) 前年比-11

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 特別支援 | 計 |
|-------|-------|-------|-------|------|---------|
| 生徒数 | 599 | 569 | 626 | 80 | 1,874 |
| (前年数) | (568) | (627) | (616) | (74) | (1,885) |
| 学級数 | 20 | 19 | 20 | 15 | 74 |
| (前年数) | (19) | (20) | (19) | (16) | (74) |

③ 4月の行事から

(1) 燕・弥彦科学教育センター運営協議会【4月12日(火)】

- 令和3年度の事業では、児童生徒科学発表会や研修会の一部をオンラインで実施するなど、活動を止めない工夫をしながら事業を展開してきた。

その結果、事業や研修会に参加した総人数は、令和2年度1,060人から令和3年度1,721人と、大幅に増加した。主催した研修の満足度調査では、肯定的評価が100%であった。

- 令和4年度は、感染状況を鑑みながら、事業及び研修会の内容と照らし合わせ、対面、オンライン、ハイブリッド等、実施方法を工夫し、例年同様の事業を計画している。
- 協議会では、令和3年度事業報告及び決算報告並びに令和4年度事業計画及び予算(案)について協議を行い、いずれも原案のとおり承認された。

(2) 全県教育長会議【4月13日(水)】

- 冒頭のあいさつでは、佐野哲郎 新県教育長から、①新型コロナ対応、②確かな学力と教員の資質指導力向上、③いじめ防止・不登校対策、④教職員の多忙化解消、⑤教職員の非違行為の根絶の5点について話があった。
- この後、義務教育課、高等学校教育課、生徒指導課、保健体育課、福利課、財務課、生涯学習推進課、県立教育センターの順で、新規事業や重点事業について説明があった。
- 情報交換の場では、①部活動の地域移行に関する取組について、②学習用端末物損時の保護者対応について、③各市町村におけるヤングケアラー実態調査の実施状況について、各市町村での取組を紹介しあった。①につ

いては、教職員の多忙化解消と関連付けることの難しさ、②については、今後、バッテリー消耗による交換の必要性が生じること、③については、学校が対策を進める上での課題について等、それぞれ活発に意見が交換された。

(3) 燕さくらマラソン大会【4月16日(土)】

○ スタート時には雨も上がり、桜の花びら舞う中でのレースとなった。

▷参加申込者数 1,643人

・ハーフ=816人 ・10km=449人 ・3km=154人 ・2km=132人

・ウォーキング=92人

▷スタート人数 1,313人(ウォーキング除く)

▷フィニッシュ人数 1,297人(ウォーキング除く)

○ 大会の運営にあたっては、300人を超える方々からスタッフとしてご尽力いただいた。改めて感謝申し上げたい。

④ 結びに

○ 正解のない予測不可能な未来を生き抜く子どもたちに、「協働しながら、最適解・納得解を導いていく」資質を育てる必要を感じる。学校教育現場では、「やらないこと、やめること」の羅列にとどめることなく、「どうしたらできるか、他の方法はないか」を子どもたちとともに創り上げていく姿勢を大事にしていきたい。

○委員(中野 信男)

マスク生活の影響による、子どもの認知発達低下について、もう少し具体的な話があればお話しいただきたい。

○教育長(小林 靖直)

新聞の概要としての情報だが、アメリカの大学の調査で、コロナ禍の生活が子どもの発達に影響を及ぼすという調査結果があるというものであった。

○委員(中野 信男)

マスクをしていると、子どもは、相手が怒っているのか笑っているのか認識することが難しい。そういったことも一因なのではないかと思う。

○委員(小林 恵子)

松長小学校の令和4年度新入生は何人だったのか。

○学校教育課長(岡部 清美)

1名である。

(3) 寄附報告

3件の寄附について

〈No. 1、2について白井子育て支援課長が説明〉

〈No. 3について岡部学校教育課長が説明〉

4 専決処分の報告について

報告第4号 共催・後援の教育長専決報告について

6件の共催・後援申請について

〈No. 1、2について廣田社会教育課長が説明〉

〈No. 3、4について岡部学校教育課長が説明〉

〈No. 5、6について廣田社会教育課長が説明〉

5 議案

議案第15号 学校薬剤師の委嘱について

〈岡部学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第15号は原案通り議決された。

議案第16号 燕市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について

〈岡部学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第16号は原案通り議決された。

議案第17号 燕市学校給食センター調理配送等業務委託事業者評価委員会委員の
委嘱について

〈岡部学校教育課長が説明〉

○委員（小林 恵子）

議案17号について、告示番号が空欄であるが何番となるか。

○学校教育課長（岡部 清美）

入力漏れである。告示番号は燕市教育委員会告示第4号である。

審議の結果、全員異議なく議案第17号は原案通り議決された。

議案第18号 燕市教育行政評価委員会委員の委嘱について

〈岡部学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第18号は原案通り議決された。

議案第19号 第3次燕市学校教育基本計画検討委員会委員の委嘱について
〈岡部学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第19号は原案通り議決された。

議案第20号 燕市立小中学校における衛生管理者及び衛生推進者の選任について
〈岡部学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第20号は原案通り議決された。

議案第21号 燕市立小学校及び中学校における非常かけつけ人の委嘱について
〈岡部学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第21号は原案通り議決された。

議案第22号 燕市学校運営協議会委員の委嘱について
〈岡部学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第22号は原案通り議決された。

議案第23号 燕市 Good Job つばめ推進事業実行委員会委員の委嘱について
〈岡部学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第23号は原案通り議決された。

6 その他

(1) 令和4年第2回燕市議会臨時会（教育委員会関係抜粋）

1) 専決処分 の 報告について（令和3年度燕市一般会計補正予算（第16号））

〈岡部学校教育課長が説明〉

〈廣田社会教育課長が説明〉

2) 令和4年度燕市一般会計補正予算（第1号）

〈岡部学校教育課長が説明〉

〈廣田社会教育課長が説明〉

(2) 燕市地域レジリエンス自立分散型エネルギー設備等導入事業
(燕市立吉田南小学校) プロポーザルの結果報告について
〈岡部学校教育課長が説明〉

(3) 「羽ばたけつばくろ応援事業」 審査員の選任について
〈岡部学校教育課長が説明〉

審議の結果、上田佳澄教育委員に決定した。

○委員 (小林 恵子)

昨年度に審査員をさせていただき感じたことだが、6月の二次審査会について、子どもでは予算面の質問などには答えが上手く返ってこない場合もあるので、先生方にフォローしていただくようお願いしたい。

また、昨年度の各団体の成果報告がコロナの影響で遅くなってしまった。今年度もコロナ禍が続くようなら、子どもたちに年度内に成果報告のフィードバックができるようスケジュールを改善していただきたい。

○学校教育課長 (岡部 清美)

成果報告会の方法やスケジュールについて、早い段階から検討する。

(4) その他

1) 「読解力」育成プロジェクトについて
〈小池主任指導主事が説明〉

○委員 (小林 恵子)

各学校で今年度の研究主題を決める時に、「読解力育成」ということを中心に決めている、という認識でよいか。

○主任指導主事 (小池 純一)

研究テーマの中心に「読解力育成」を据えている学校もある。もともと取り組んでいるテーマの副題にしている学校もある。研究主題に直接入ってなくても、主題を支えるための職員研修で読解力を扱う学校もある。やり方は様々であるが、すべての学校が何らかの形で「読解力育成」を取り入れている。

○委員 (小林 恵子)

研究主題に「読解力育成」を必ず取り入れるということは、教職員にとって負担が大きいということを理解していただきたい。強制的にやらせられる研修にならないよう、教育委員会が上手くサポートしてほしい。あまり学術的になりすぎない方

がよいと思う。

○主任指導主事（小池 純一）

教職員に伝える時も、新しいものを付け加えたり今までのやり方を変えるのではなく、リーディングスキルの視点を知っていただくことで、今までやっていたことがどの視点にあたるのか気付いていただくことを重視している。教職員の負担が増えないようにしていきたい。

○委員（斎藤 純郎）

「子どもたちが自ら学ぶ授業」を目指すということだが、先生が教え込んではいけないということではなく、子どもたちが自ら学ぶようになるための努力をするということでしょうか。

○主任指導主事（小池 純一）

受け身の授業にならないよう、先生が教えることについて正しく理解し、好奇心を持ち、意欲的に新しい知識を求め、先生から新しいことを教えてもらう、というサイクルを目指す。

○委員（斎藤 純郎）

やってみないと分からないことが多々あると思う。やりながら改善していただきたい。小林委員の話にもあったとおり、地に足のついた研修になるように配慮していただきたい。

教職員の皆さんは人事異動により燕市を離れてしまうが、どのようにこのプロジェクトの成果を蓄積していくのか。

○主任指導主事（小池 純一）

燕市が変わったことをやっているという認識ではない。今まで教職員が色々な学校で実践したことを読解力の視点で見直すことで新たな気付きを得ることが大切であると考えている。また、燕市で実践したことを異動先でも活かしていただきたい。

○委員（斎藤 純郎）

「読解力」育成プロジェクトを燕市の重点事業として実施することのメリットは何か。

○主任指導主事（小池 純一）

正しく読み取れること、仲間と伝えあえること、先生が説明することをよく理解できることは、子どもたちの学びへの意欲や好奇心に繋がるものであり、そこを育てていくことで「生きる力がみなぎる燕の子ども」が生まれると考えている。

学習意欲の向上が、学力向上にも繋がると考えている。

○委員（斎藤 純郎）

全国学力・学習状況調査の数値の乖離を改善するための策として、「読解力」育成プロジェクトを実施しているということによいか。

○主任指導主事（小池 純一）

その通りである。

○委員（小林 恵子）

昨年度、新井先生の講演会に参加し、小学校での授業を見せていただいたが、どの学校のどの教科でも使えそうなテクニックが多くあった。例えば、学習課題を先生が先に書くのではなく、子どもたちと同時に書くということや、教科書のどこに該当ページがあるのか子どもたちに探させる、というようなテクニックがあった。これだけのことで、与える授業からの変化になっていくと思う。そのようなテクニックの具体例を、教育委員会から教職員へ発信するとよいと思う。

○委員（斎藤 純郎）

「読解力」育成プロジェクトにより燕市に蓄積されるものはなにか。どうやれば蓄積されるか。それをどのように伝えていくか。

○主任指導主事（小池 純一）

形として蓄積していくものについては、今年度から先生方に取り組んでいただく「燕読解力育成プラン」がある。これは指導の計画や実践の記録であり、毎年更新していく。

1年間に3回、研究主任会を実施する。そこで各学校の取組について情報交換を実施することや、年度の初めに昨年度のプランの読み返しを行う。

○委員（斎藤 純郎）

「読解力」育成プロジェクトは、教育委員会の重点事業である。しっかりとした芯がないといつの間にかうやむやになってしまう可能性がある。しっかりとプロジェクトを組み立てて実施していただきたい。

○委員（秦 久美子）

「読解力」育成プロジェクトが最終的に目指すところは学力向上だと思っている。学校区ごとで研修をすることがあると思うが、そうすると先生の能力に差が出てきてしまうと思う。能力が低い先生に的確に教育委員会が指示を出すなど、バックアップしていただきたい。

先生だけ一生懸命になることがないよう、子どもたちと一緒に学習していく姿勢を大事にしてほしい。読解力を育成することにより、自ずと学力は向上すると思う。

○教育長（小林 靖直）

学校教育では大前提として「良好な関係性」が大切である。子どもたちが「先生が好き」、「勉強が好き」な学級は学力が向上するという統計がある。教職員がやらされていると感じると、子どもたちとの関係性も悪くなってしまうことがある。「読解力」育成プロジェクトは、すべての学習の前提になるものである。非認知能力の育成にも繋がる。教職員がやらされているという状況にならないよう、指導主事とフォローし、学校現場の声も聞きながら進めていきたい。引き続きご指導いただきたい。

○教育長（小林 靖直）

その他、何かあるか。

○学校教育課長（岡部 清美）

今年度の教育委員の視察について、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら調整し、詳細が決まればお伝えさせていただく。

また、4月7日からインスタグラムにて、学校給食の献立の紹介を始めた。ぜひご覧いただきたい。

○委員（斎藤 純郎）

視察について、複数の候補日を設定していただきたい。

7 閉 会 午後3時17分

燕市教育委員会会議規則（平成 18 年燕市教育委員会規則第 2 号）第 17 条第 2 項の
規定により会議録に署名する。

令和 4 年 5 月 3 日

教 育 長 小林 靖直

教 育 委 員 中野 信男

教 育 委 員 秦 久美子

教 育 委 員 斎藤 純郎

教 育 委 員 小林 恵子

教 育 委 員 上田 佳澄

会議録作成職員 志賀 覚子